

29TM-pm05

C. aromatica から渡環反応の基質となる 10 員環セスキテルペンの分離

○黒柳 正典¹, 代田 修¹, 関田 節子¹, 中根 孝久²(¹徳島文理大香川薬,²昭和薬大)

【目的】 ショウガ科 *Curcuma* 属植物からは germacrane, guainae, secoguaiane 骨格を有する多くのセスキテルペンが報告されている。10 員環セスキテルペンである germacrone-4,5-epoxide, curdione, germacrone から渡環反応により各種セスキテルペンが生合成されると考えられている。そこで、渡環反応を利用し各種セスキテルペンを得るために、*C. aromatic* から渡環反応の基質となる 10 員環セスキテルペンの分離を行った。その過程で、微量成分の分離も行った。

【実験・結果】 *C. aromatic* の新鮮根茎の EtOAc 可溶部をシリカゲルカラムクロマトグラフィーに付し、主成分として germacrone-4,5-epoxide, curdione, dehydrocurdione, germacrone を得るとともに、逆相系カラムを用いた HPLC 等を丹念に行うことにより微量成分の分離を行った。

以前、*C. aromatic* から分離した微量成分 comp.1 と 2 の構造について検討した。Comp. 1, 2 は各種スペクトルデータを測定することにより germacrone のジエポキシ体で、お互いに立体異性体の関係にあることが明らかになった。germacrone-4,5-epoxide から comp. 1, 2 を誘導し構造を確認した。

